

# 社会科（モビリティ・マネジメント教育）学習指導案

令和2年10月30日5校時（教室）  
八戸市立白鷗小学校3年1組（24名）  
指導者 教諭 佐々木 亮子

## 1 題材名 市の様子（交通について調べよう）

## 2 題材について

### (1) 教材観

本教材は、学習指導要領で示されている「社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。」を受けて設定した。公共交通は八戸市民が、だれでも、いつでも、どこへでも行ける大切な移動手段であることを知り、公共交通の大切さに気付かせたい。また、公共交通が抱える問題があることを教え、公共交通のよさに目を向けて移動手段を適切に選択し、利用することが将来のバス路線の維持につながっていくことを理解させていきたい。

### (2) 児童観

児童は1学期の学習「市の様子」において、写真や地図を活用して調べ、様々な交通機関があることや市の中心街に交通機関が集まっていることを学習した。しかし、公共交通機関を利用した経験が無い子が多数のため、「交通」についてあまり興味を示さず、市の交通の広がりについての理解も不十分であった。そこで、2学期「バスの乗り方教室」を実施し、実際に市営バスに乗って中心街に出掛ける活動を行った。そのことにより、交通に関心をもち、公共交通機関を利用して様々なところへ出かけてみたいという意欲が高まってきている。楽しさ、便利さは感じているものの、公共交通のよさや必要性を理解している児童は少ない。そこで、「市の様子」の発展学習として「市の交通（バス）の必要性」について考える活動を取り入れ、公共交通のよさに目を向けて、自分たちの生活に合わせて移動手段を適切に選択・判断し、表現していく力の素地を養っていきたい。

### (3) 指導観

本時では、主な移動手段として自家用車が多く利用されているというアンケート結果を提示し、そこから「なぜバスが必要なのか。」という学習課題につなげることで興味、関心が高まり、自分の課題として進んで課題解決に取り組むことができるようになる。また、利用者の減少によりバス路線や便数が年々減少している資料を提示することで、公共交通が抱える問題に気付かせていく。そして、公共交通と自家用車をバランスよく使い分けることが、バス路線の維持のためには必要なことを知り、公共交通のよさに目を向けて、移動手段を選択できる力を育てていきたい。

## 3 本時の位置付け（4／4時間）※「市の様子」の学習後に発展学習として実施

- ①市営バスの乗車体験を通して、「公共交通の種類」や「バスの乗り方」、「バスマップの使い方」など、バスの利用の仕方を覚える。…2時間
- ②乗車体験を振り返り、「どんな人が利用していたか」「バスの便数」「バス路線の広がり」など気が付いたことを話し合う。…1時間
- ④自分たちの生活においてバスは必要か考え、移動手段を適切に選択することが、将来にわたっての公共交通の維持につながることを知る。…1時間(本時)

#### 4 本時の指導

##### (1) 目標

バスは必要か考える活動を通して公共交通のよさに気付き、公共交通と自家用車をバランスよく使い分けることの必要性を知り、提案文を書くことができる。

##### (2) 展開

段階	学習内容と学習活動	指導者のはたらきかけ	評価
導入 5分	<p>1 事前アンケートの結果を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期になってからバスを利用した(24名中3名)</li> <li>・家族が通勤や通学にバスを利用している(24名中2名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「乗車体験」で中心街に出掛けた時のことを想起させる。 →市内をたくさんバスが走っている。市内の色々なところに行ける。お年寄りがたくさん利用していた。</li> <li>・事前アンケートの結果を提示し、自分も家族もあまりバスを利用していないことに気付かせ、「なぜバスが必要か」という学習課題につなげていく。</li> </ul>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>なぜバスが必要か考えよう。</p> </div>		
展開 30分	<p>3 自力解決をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お年寄りとか車を運転しない人は、バスが無いと困るから。</li> <li>・バスが無いと、車を運転しない人は遠くに出掛けることができないから。</li> </ul> <p>4 グループで意見交流し、考えをまとめ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だれでも、いつでも、どこへでも行けるために、バスは必要。</li> </ul> <p>5 資料を読み取り、公共交通が抱える問題に気付き、解決方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車を使う人が増えたら、バスがどんどん減っている。</li> <li>・車とバスの両方を使っていけばいい。</li> </ul> <p>6 車とバスをどのように使い分けたらよいか考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">車</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荷物が多い</li> <li>・あちこち色々な場所に行く</li> <li>・いそいでいる</li> </ul> </div> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">バス</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荷物が少ない</li> <li>・1つの場所に行く</li> <li>・時間がある</li> <li>・祭りを見に行く</li> </ul> </div> </div> <p>7 車とバスの使い分け方についてゲストティチャーの話聞く。</p> <p>8 学習を振り返り、まとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ必要なのか理由を考えさせることにより「だれでも」「いつでも」「どこへでも」という公共交通のよさに目を向けさせていく。</li> <li>・「利用者の減少」「バス路線・便数の減少」の資料を提示し、このままではバス路線が無くなってしまう可能性があることに気付かせる。</li> <li>・「バス路線・便数の減少」については、ゲストティチャーに講話してもらい、車とバスをバランスよく使い分けることの大切さを知らせる。</li> <li>・場面カードを準備し、グループで相談しながら使い分け方法を考えられるようにする。</li> <li>・車に頼り過ぎると困ること(環境汚染・交通事故・渋滞など)についても講話してもらう。</li> </ul>	<p>評価【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>学習課題に向けて進んで取り組み、自分の考えをもつことができる。(ワークシート)</p> <p>◎前時までの学習内容を参考にして考えるよう声がけをする。</p>
終末 10分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>だれでも、いつでも、どこへでも行けるためにバスは必要。 バス路線を守るためには、車とバスをバランスよく使い分けることが大切。</p> </div> <p>9 家族に向けて、提案文を書く。</p> <p>お母さんへ 今日勉強して、バス路線を守るために車とバスを使い分けることが大切と分かりました。だから、いつも車で買い物に行っているけど、今度ラビアに行くときはバスに乗って行こうね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数名に発表させ、頑張りを称賛する。</li> </ul>	<p>評価【思考・判断・表現】</p> <p>学習したことを生かして、具体的な行動について、提案文を書くことができる。</p> <p>(観察、ワークシート)</p> <p>◎板書を手がかりに、具体的な内容を考えるよう声がけをする。</p>